

令和3年度（2021年度） 公立はこだて未来大学

入学者選抜要項 (7月31日改訂版)



目 次

アドミッションポリシー（入学者受入れ方針）	1
-----------------------	---

令和3年度（2021年度）公立はこだて未来大学 入学者選抜概要

1 募集人員	4
2 試験期日	4
3 試験会場	5
4 出願方法	5

I 一般選抜（前期・後期日程）要項

1 募集人員	6
2 試験期日	6
3 出願資格	6
4 出願上の注意	6
5 併願上の注意	7
6 一般選抜の教科・科目・配点	8
7 新型コロナウイルス感染症等に罹患した場合の追試験の設定	9

II 総合型選抜要項

1 募集人員	10
2 試験期日	10
3 出願資格	10
4 出願上の注意	11
5 併願上の注意	11
6 総合型選抜の方法	13
7 自己推薦資料	14
8 面接時の注意事項	14

III 学校推薦型選抜要項

1 募集人員および出願資格	15
2 試験期日	15
3 出願上の注意	15
4 併願上の注意	16
5 学校推薦型選抜の方法	17

〈参考〉 一般選抜（前期日程）試験 数学出題ポリシー	18
総合型選抜試験 総合問題A出題ポリシー	19
学校推薦型選抜試験 総合問題I出題ポリシー	20
一般選抜（前期日程）試験 英語出題ポリシー	21
総合型選抜試験 総合問題B・学校推薦型選抜試験 総合問題II出題ポリシー	22
令和2年度入学者選抜試験結果	23
令和2年度一般選抜入試合格者得点統計値	24

アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

公立はこだて未来大学は「オープンスペース・オープンマインド」をモットーとし、システム情報科学に関わる、高い専門能力、問題探究力・構想力、情報表現能力・チームワーク力、学び続ける力、専門家としての人間性という5つの素養を育むことを目標としています。

この目標に向けて、本学では教養基礎科目群、コミュニケーション科目群、学部共通科目群、学科専門科目群、コース専門科目群において、知識と技術、解決力、コミュニケーション力を身につけます。また、プロジェクト学習をはじめとする演習・実習、討論、フィールドワーク等を通じて、主体的に学ぶ姿勢を身につけます。学部教育の集大成として、卒業論文を執筆し発表を行います。

そのため、次のような資質と能力をもつ人を求めています。

- ・本学で学ぼうと必要となる学力を備えている人
- ・システム情報科学分野に強い関心をもっている人
- ・計算論的思考力を習得し、情報論的社会観を備えて、未来に貢献しようとする意欲をもっている人

（入学者選抜の基本方針）

- ・多様な入学者選抜方式を採用し、本学での学修に強い意欲をもつ人を受け入れます。
- ・一人ひとりの資質と能力を重視し、個人の属性による差別を行いません。

入学者選抜は学部一括の募集によって行います。入学後、第2学年進級時に各学科・コースに配属します。ただし、編入学については学科ごとの募集となります。

● 一般選抜（前期日程）

本学で学ぼうと必要となる理数系および言語系の学力と知識の運用力、論理的思考力を有するかを評価します。

（選抜方法）

〔概要〕大学入学共通テストと個別学力検査により、修学に必要な総合的な学力を有することを問う入試です。

〔大学入学共通テスト〕国語・数学・理科・外国語（英語とリスニング）の4教科を課し、理数系および言語系を中心に学力を検査します。

〔個別学力検査〕理数系の基礎となる数学、および英語の記述式試験を課すことにより、学力を検査します。数学では知識・技能、思考力・判断力・表現力に加え、解答に至る過程を論理的に正しく的確に記述できる能力を、英語では出題する文章と問題に独自の焦点をもたせ、情報や考えを理解し伝える能力を評価します。

〔合否判定〕大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点を合算して総合点の高い順に合格者を決定します。

● 一般選抜（後期日程）

本学で学ぶうえで必要となる理数系および言語系の高い学力を有するかを評価します。

（選抜方法）

〔概要〕 大学入学共通テストの得点により、修学に必要な学力を有することを問う入試です。

〔大学入学共通テスト〕 国語・数学・理科・外国語（英語とリスニング）の4教科を課し、理数系および言語系を中心に学力を検査します。

〔合否判定〕 大学入学共通テストの得点の高い順に合格者を決定します。

● 総合型選抜

・システム情報科学分野に強い関心があり、本学で学ぶうえで必要となる理数系および言語系の基礎学力を有しているかを評価します。

・さらに、思考力・判断力・表現力に優れ、多様な人々と協働して主体的かつ継続的に学ぶ意欲をもつこと、システム情報科学の学びに結びつく優れた学力や技能、活動実績、社会経験などを有していることを、面接によって評価します。

（選抜方法）

〔概要〕 適性検査により基礎学力を、面接によりシステム情報科学分野への強い関心および自己推薦の根拠となる具体的な活動実績を有することを問う入試です。

〔適性検査〕 総合問題Aでは理数系の基礎的な能力、総合問題Bでは言語理解・言語表現の基礎的な能力を評価するため、記述式の問題を出題し、本学で学ぶうえで必要となる基礎学力を有するかを検査します。

〔面接〕 プレゼンテーションおよび対話面接により、思考力・判断力・表現力、主体性、および本学で学ぶうえでの適性などを検査します。対話面接では、志望理由書や調査書などの出願書類を活用します。

〔合否判定〕 適性検査と面接を総合的に評価して合格者を決定します。

● 学校推薦型選抜

・成績が優秀であり、修学のための能力と適性に基づいて在学高等学校長より推薦を受けた人を対象とします。

・システム情報科学分野に強い関心があり、本学で学ぶうえで必要となる理数系および言語系の基礎学力を有するかを評価します。

・さらに、思考力・判断力・表現力に優れ、多様な人々と協働して主体的かつ継続的に学ぶ意欲をもつことを、面接によって評価します。

・本選抜では公立大学の責務として、地域における高等教育の機会を提供し、知的・文化的拠点としての役割を果たすため、全国枠に加え、地域枠および地域を対象とした指定校推薦枠を設けています。

（選抜方法）

〔概要〕 適性検査により基礎学力を、面接により本学で学ぶために必要となる能力と適性を有することを問う入試です。

[適性検査] 総合問題Ⅰでは理数系の基礎的な能力、総合問題Ⅱでは言語理解・言語表現の基礎的な能力を評価するため、記述式の問題を出題し、本学で学ぶうえで必要となる基礎学力を有するかを検査します。

[面接] 対話面接により、思考力・判断力・表現力、主体性、および本学で学ぶうえでの適性などを検査します。対話面接では、志望理由書や調査書などの出願書類を活用します。

[合否判定] 地域枠と全国枠については、適性検査と面接を総合的に評価して合格者を決定します。指定校推薦枠については、面接による評価で合格者を決定します。

● 編入学試験

・システム情報科学分野に強い関心があり、編入学後に必要となる理数系および言語系の学力に加え、専門領域に関する基礎的な知識と技能を有するかを評価します。

・さらに、思考力・判断力・表現力に優れ、多様な人々と協働して主体的かつ継続的に学ぶ意欲をもつことを、面接によって評価します。

・本選抜においては、地域の工業高等専門学校生の進学のを確保するため、全国枠に加え、北海道内を対象とする特別選抜枠を設けます。

※なお、編入学試験においては学科ごとに募集し、合格後に配属先コースを決定します。

(選抜方法)

[概要] 学力検査および面接により、編入学に際して必要となる十分な学力と知識・技能、論理的思考力を有することを問う入試です。

[学力検査] 理数系科目である数学と情報に加え、英語の記述式試験を課すことにより、編入学に必要な学力と、専門領域に関する基礎的な知識を身につけているかを検査します。

[面接] 対話面接を課し、面接員との対話を通じて、思考力・判断力・表現力と主体性を検査します。

[合否判定] 一般選抜では学力検査と面接を総合的に評価して合格者を決定します。特別選抜においては、面接での評価によって合格者を決定します。

(留学生特別選抜)

[概要] 編入学試験においては、留学生を対象とした特別選抜を行いません。ここでいう留学生とは、出入国管理局および難民認定法に定める「留学」の在留資格を有する者または入学時に取得できる者のことを指します。

[選抜方法] 学力検査および面接により、編入学に際して必要となる十分な学力と知識・技能、論理的思考力を有することを評価する入試で、検査内容は一般選抜と同一です。

[出願資格審査] 出願に当たっては事前に、学歴および日本語能力についての出願資格審査を行います。

令和3年度（2021年度）公立はこだて未来大学 入学者選抜概要

新型コロナウイルス感染拡大等の不測の事態により、試験日程等本要項の内容を変更する場合があります。変更する必要がある場合は、本学Webサイト内にてお知らせいたします。受験を予定されている方は、下記のURLにて最新情報をご確認ください。

URL : <https://www.fun.ac.jp/admission-undergraduate>

1 募集人員

学 部 名	一般選抜		総合型 選 抜	学校推薦型選抜			入学定員
	前期日程	後期日程		指定校	地域枠	全国枠	
システム情報科学部	135人	25人	20人	10人	40人	10人	240人

※システム情報科学部の定員は、情報アーキテクチャ学科120人、複雑系知能学科120人ですが、学部一括で入学者を選抜し、2年進級時に各学科へ配属します。

2 試験期日

◆総合型選抜 [10～14頁参照]

出願期間 令和2年 9月15日（火）～令和2年 9月28日（月）
第一次選考合格発表 令和2年10月16日（金）※選考があった場合
第二次選考 令和2年10月31日（土）・11月1日（日）
合格発表 令和2年11月 6日（金）

◆学校推薦型選抜 [15～17頁参照]

出願期間 令和2年11月 4日（水）～令和2年11月13日（金）
試験期日 令和2年11月28日（土）・29日（日）
合格発表 令和2年12月 4日（金）

◆一般選抜 [6～9頁参照]

出願期間 令和3年 1月25日（月）～令和3年 2月 5日（金）

※ 大学入学共通テスト特例追試験受験者は、令和3年2月15日（月）から令和3年2月18日（木）までの間出願を受付します。

(1) 前期日程

試験期日 令和3年 2月25日（木）
合格発表 令和3年 3月 6日（土）

(2) 後期日程（個別学力検査は課さない）

合格発表 令和3年 3月20日（土）

3 試験会場

- ◆ 総合型選抜および学校推薦型選抜
公立はこだて未来大学（函館市亀田中野町116番地2）
- ◆ 一般選抜（前期日程）

会場名	試験会場
函館会場	公立はこだて未来大学
札幌会場	札幌市
東京会場	東京都
名古屋会場	名古屋市
大阪会場	大阪市

※ 函館会場以外の試験会場の場所については、募集要項等で発表します。

4 出願方法

インターネット出願（Web出願）により受付します。（ただし、大学入学共通テスト特例追試験受験者が一般選抜に出願する場合を除く）

募集要項は以下の時期に本学Webサイトにて公開を開始します。

総合型選抜	令和2年 7月下旬
学校推薦型選抜	令和2年 8月下旬
一般選抜	令和2年11月上旬

入学試験に関する詳細は、上記募集要項で必ず確認してください。

インターネット出願は下記URLより行うことができます。

<https://sak-sak.net/app/fun>



※ 出願に当たっては、サイト内の「出願手順」「Q&A」等をよく確認してください。

I 一般選抜（前期・後期日程）要項

1 募集人員

学 部 名	前期日程	後期日程
システム情報科学部	135人	25人

2 試験期日

出願期間 令和3年1月25日（月）～令和3年2月5日（金）

※ 大学入学共通テスト特例追試験受験者は、令和3年2月15日（月）から令和3年2月18日（木）までの間出願を受付します。

- (1) 前期日程
試験期日 令和3年2月25日（木）
合格発表 令和3年3月 6日（土）
- (2) 後期日程（個別学力検査は課さない）
合格発表 令和3年3月20日（土）

3 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ令和3年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト（以下「大学入学共通テスト」という。）で本学の指定する教科・科目を受験した者

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和3年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和3年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※ 出願資格（3）のうち、個別の入学資格審査により出願を希望する者は、事前に本学の出願資格の認定を受けることが必要です。なお、申請は、入学資格の認定を必要とする2か月前となります。（一般選抜の出願予定者は大学入学共通テスト出願開始日の2か月前（7月末）までに申請が必要です。）詳細については、教務課入試・学生募集担当（電話 0138-34-6444）へお問い合わせください。

4 出願上の注意

- (1) 前期日程および後期日程のいずれにおいても、本学が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していない者は、本学の一般選抜に出願できません。また、受験票が送付された後であっても、当該教科・科目を受験していないことが判明した場合は、個別学力検査を受験できません。
- (2) 出願書類等に不備がある場合は受理できません。
- (3) 出願後は書類等の内容を変更できません。
- (4) 一度受付をした出願書類および納付された入学検定料は、理由のいかんを問わず返還しません。
- (5) 出願書類等に虚偽の記載をした場合、入学後であっても入学の許可を取り消します。
- (6) 身体等に障がいがある者のうち、受験上および修学上の配慮を必要とする場合は、出願の前に教務課入試・学生募集担当（電話 0138-34-6444）へ申し出てください。

5 併願上の注意

- (1) 同一日程グループ内に属する2つの大学・学部に出願することはできません。
- (2) 他の国公立大学の総合型選抜または学校推薦型選抜に合格し、入学手続を完了した者は、当該大学の総合型選抜による入学または推薦入学辞退の許可を受けた場合を除き、本学の一般選抜を受験してもその合格者にはなりません。重複して入学手続を行った事実が判明したときは、本学の入学許可を取り消す場合があります。
- (3) 他の国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の前期日程に合格し、入学手続を完了した者は、本学の後期日程を受験しても合格者にはなりません。
また、本学の前期日程に合格し、入学手続を完了した者は、他の国公立大学の中期日程および後期日程を受験しても合格者にはなりません。重複して入学手続を行った事実が判明したときは、本学の入学許可を取り消す場合があります。
※ 独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）を確認してください。
- (4) 国公立大学の分離分割方式による合格者決定業務を円滑に行うため、一般選抜の合格および入学手続に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センターおよび併願先の国公立大学に送達されます。

6 一般選抜の教科・科目・配点

(1) 一般選抜の教科・科目

大学入学共通テスト [4教科5科目または6科目] (前期・後期共通)			個別学力検査		
前期日程 ・ 後期日程	教科	科目	前期日程	教科	科目
	国語	『国語』 (「近代以降の文章」のみ)		数学 (注2)	必須問題
数学	必須	『数学Ⅰ・数学A』	選択問題		数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B
	選択	『数学Ⅱ・数学B』			数学Ⅲ
			『情報関係基礎』	外国語	英語(注3)
理科	選択 (注1)	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	後期日程	個別学力検査は課さない	
		「物理」 「化学」 「生物」 「地学」			
外国語	『英語』 (リスニングも課す。)				

(注1) 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」および「地学基礎」から2科目を選択, または「物理」, 「化学」, 「生物」, および「地学」から1科目を選択します。

(2科目以上受験した場合は, 高得点の科目の成績を使用します。)

(注2) 数学出題ポリシー [18頁参照]

(注3) ① 英語出題ポリシー [21頁参照]

② 英語辞書の持込み可

本学の考える辞書の活用意義とは, 文章の要になるような単語・熟語の適切な意味や用例をその場で調べるといことです。そうした辞書の活用は, 本学の英語教育(コミュニケーション)において実践的な英語力のひとつと考えます。したがって, 試験での辞書の持込みを認めません。

辞書の種類は, 書籍型の英和, 和英および英英とし, 持込める冊数は各1冊です。電子辞書の使用は認めません。

付箋等はあらかじめしておいてください。また, 辞書の余白部分に文章や文例等の書込みを留意し解答に使用するなど, 本学の考える辞書の活用意義から逸脱すると判断される行為は, 不正行為とみなす場合があります。

(2) 配点

	大学入学共通テスト						個別学力検査			合計
	国語	数学① 【数学I・数学A】	数学② 【数学II・数学B】 または 【情報関係基礎】	理科	外国語 【英語】 ※1 ※2	小計	数学	外国語 【英語】	小計	
前期日程	100	100	100	100	100	500	300	200	500	1000
後期日程	100	100	100	100	100	500	—	—	—	500

※1 大学入学共通テストの外国語『英語』については、前期日程・後期日程ともに、リーディングは得点（100点満点）を0.8倍した80点満点、リスニングは得点（100点満点）を0.2倍した20点満点に換算し、合計100点満点として利用します。

※2 大学入学共通テスト特例追試験の外国語『英語』については、前期日程・後期日程ともに、筆記とリスニングの合計得点（250点満点）を0.4倍したものを利用します。

7 新型コロナウイルス感染症等に罹患した場合の追試験の設定

前期日程に出願したものの、新型コロナウイルス感染症等に罹患したなどの事由により個別学力検査を受験できなくなった者については、追試験を設定します。

(1) 対象者

新型コロナウイルス感染症等に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない者や、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者などで、本学が定める期日までに申請を行った者。

※ 対象者の詳細や追試験の申請方法については、一般選抜募集要項等で発表します。

(2) 追試験の方法

新たに個別学力検査等の受験は求めず、大学入学共通テストの得点により合否判定を行います。

Ⅱ 総合型選抜要項

総合型選抜は、学力試験だけでは評価できない特別な能力や、大きな可能性を秘めている学生を、全国から積極的に迎え入れようとする自己推薦による選抜方式です。

1 募集人員

学 部 名	募集人員
システム情報科学部	20人

2 試験期日

出願期間	令和2年 9月15日(火)～令和2年 9月28日(月)
第一次選考合格発表	令和2年10月16日(金) ※選考があった場合
第二次選考	令和2年10月31日(土)・11月1日(日)
合格発表	令和2年11月 6日(金)

3 出願資格

次の(1)から(4)までのいずれにも該当する者が出願できます。

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和3年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和3年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※ 出願資格(1)③のうち、個別の入学資格審査により出願を希望する者は、事前に本学の出願資格の認定を受けることが必要です。なお、申請は、入学資格の認定を必要とする2か月前となります。(総合型選抜の出願予定者は8月15日までに申請が必要です。)詳細については、教務課入試・学生募集担当(電話 0138-34-6444)へお問い合わせください。

- (2) 公立はこだて未来大学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者
- (3) 「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B」を履修している者、あるいはこれと同等の学力を有する者
- (4) 次の分野などで自己推薦の根拠となる具体的な活動実績を有し、プレゼンテーションにおいてそれを説明できる者

〔活動の分野・実績の例〕

〔学 業〕

○理数系

- ・探求的な学習の場において主体的に取り組み、優れた学修成果を収めた。
- ・部活動やサークル活動など、課外の活動に意欲的に参加して優れた成績を収めた。
- ・理数系科目や数学検定・統計検定などで優れた成績を収めた。

○外国語

- ・英検，ＴＯＥＦＬ，ＴＯＥＩＣなどで優れた成績を収めた。
- ・高い外国語運用能力を活かした活動実績を有する。

〔課 外〕

○情報科学

- ・情報処理技術者やＩＴパスポートなどの資格を取得した。
- ・情報技術検定や情報処理検定に合格した。
- ・プログラミングコンテストやハッカソンなどで優れた成績を収めた。
- ・アプリケーション開発やシステム運用などを行った。
- ・この分野の高い水準の知識や技術を有する。

○デザイン

- ・コンテストやコンペなどで優れた成績を収めた。
- ・優れた表現，作品，プロダクト，活動実践などがある。

○その他

- ・ＮＰＯ，ＮＧＯ，ボランティア団体などでの社会的な活動実践がある。
- ・システム情報科学の学びに結びつく優れた課外活動実績を有する。

〔社会経験〕

- ・社会人としての実務経験があり，その分野における豊富な知識や高い技術を有する。

4 出願上の注意

- (1) 出願書類等に不備がある場合は受理できません。
- (2) 出願後は書類等の内容を変更できません。
- (3) 一度受付をした出願書類および納付された入学検定料は，理由のいかんを問わず返還しません。
- (4) 出願書類等に虚偽の記載をした場合，入学後であっても入学の許可を取り消します。
- (5) 身体等に障がいがある者のうち，受験上および修学上の配慮を必要とする場合は，出願の前に教務課入試・学生募集担当（電話 0138-34-6444）へ申し出てください。

5 併願上の注意

- (1) 本学の総合型選抜に合格し，入学手続を完了した者は，本学の入学辞退の許可を受けた場合を除き，他の国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）が実施する一般選抜前期日程，中期日程および後期日程を受験しても合格者にはなりません。

※ 独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) を確認してください。

(2) 本学の総合型選抜に合格しなかった者は、本学および他の国公立大学が実施する選抜入試に出願することができます。

この場合は、当該大学の学生募集要項により、あらためて出願してください。

(3) 国公立大学の分離分割方式による合格決定業務を円滑に行うため、総合型選抜の合格および入学手続に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センターおよび併願先の国公立大学に送達されます。

6 総合型選抜の方法

大学入学共通テストを課さず、提出された志望理由書、自己推薦調書、自己推薦資料、調査書および本学が実施する「適性検査」ならびに「面接」により総合的かつ多面的に評価し選考します。なお、選考にあたっては、必要に応じ、本人または高等学校等から聴取を行うことがあります。

(1) 第一次選考

志願者数が募集人員を大幅に超える場合には、出願書類審査により選考を行い、合格した者が、第二次選考の対象者となります。

第一次選考の有無については、10月9日（金）までに本人あて文書にてお知らせいたします。

第一次選考を実施した場合の合否結果については、10月16日（金）に本人あて文書にて通知します。

(2) 第二次選考

「適性検査」および「面接」によって選考します。

期 日	試 験 内 容 等 (注1)		
10月31日（土）	適性検査	総合問題A (150点) (注2)	理数系の基礎的な能力を評価するため、以下の出題を行います。 1. 基礎的な数学能力を問う問題（50点） 2. データに関する基礎的な問題（50点） 3. 情報に関する基礎的な問題（50点）
		総合問題B (150点) (注3)	言語理解・言語表現の基礎的な能力を評価するため、以下の出題を行います。 1. 日本語能力を問う問題（50点） 2. 英語能力を問う問題（100点）（注4）
11月 1日（日）	面接	プレゼンテーション 対話面接 (300点) (注5) (注6)	思考力・判断力・表現力、主体性、および本学で学ぶうえでの適性などを検査します。対話面接では、志望理由書や調査書などの出願書類を活用します。

(注1) 総合問題A・総合問題Bについて、それぞれに設定する基準点を下回った場合は合格者とはなりません。

(注2) 総合問題A出題ポリシー [19頁参照]

(注3) 総合問題B出題ポリシー [22頁参照]

(注4) 英語辞書の持込み可

本学の考える辞書の活用意義とは、文章の要になるような単語・熟語の適切な意味や用例をその場で調べるということです。そうした辞書の活用は、本学の英語教育（コミュニケーション）において実践的な英語力の一つと考えます。したがって、試験での辞書の持込みを認めます。

辞書の種類は、書籍型の英和、和英および英英とし、持込める冊数は各1冊です。電子辞書の使用は認めません。

付箋等はあらかじめ準備しておいてください。また、辞書の余白部分に文章や文例等の書込みを用意し解答に使用するなど、本学の考える辞書の活用意義から逸脱すると判断される行為は、不正行為とみなす場合があります。

(注5) プレゼンテーションでは、志望理由や将来の目標のみを述べるのではなく、「これまでの活動実績（自己推薦資料）」について、具体的に説明してください。自己推薦資料の説明、質疑応答を含みます。

(注6) プレゼンテーションと志望理由書に基づき、対話面接を行います。

対話面接では、あらかじめ準備した内容を機械的に述べるのではなく、その場で示された問いについて、よく考え、わかりやすい言葉で表現してください。他者と理解し合おうとする態度や試みを重視します。

7 自己推薦資料

プレゼンテーションでは、自己推薦の根拠となる具体的な活動実績について、資料を用いながら5分以内で説明してください。必要に応じて、志望理由や将来の目標、その他にアピールしたいことなどを含めてもかまいません。

このプレゼンテーションと志望理由書に基づき、対話面接を行います。(対話面接では資料として調査書も活用します)

【資料の作成および提出の方法】

- プレゼンテーション用の電子データを保存したCD-RまたはDVD-R 2枚
(同じ内容のものを2枚作成してください。)
- 電子データの内容を印刷し、1部ずつホチキス留め等をしたもの4部
(動画部分は任意の箇所を抽出し、印刷してください。)
 - ※ 原則として、提出された電子データにより本学備え付けのノートPCでプレゼンテーションを行います。
 - ※ 資料の電子データは下記の規格で作成してください。
 - ・ Microsoft Office (Word, PowerPoint 等), Adobe Reader 等が搭載された Windows または Mac で動作可能なもの
 - ・ フォントはPC標準のもの (Windows-MS ゴシック, MS 明朝など Mac-ヒラギノなど) を使用すること
 - ※ 上記以外の規格 (タブレット端末を含む。) で作成した場合は、「自己推薦資料の調書」の「3 補足事項」に内容と動作環境を記入してください。
 - ※ 自作アプリケーションや自作ウェブサイト作品等を提出する場合は、ファイルデータをプレゼンテーション用の電子データとあわせて保存し、「自己推薦資料の調書」の「3 補足事項」に提出物の内容と動作環境を記入してください。プレゼンテーション資料の説明時間 (5分以内) には、これらの作品の実演および説明時間も含まれます。説明時間中に実演しなかったものは評価の対象としません。なお、インターネットへの接続はできません。
 - ※ 本学備え付けのPCで動作できない場合は、PC (タブレット端末を含む。) や関係備品等を持参していただくことがあります。(本学から事前に連絡します。)

8 面接時の注意事項

- (1) 出願時に提出された自己推薦資料は、面接室内に用意します。それ以外のものを面接で使用することはできません。
- (2) 面接室内には、スクリーン、プロジェクターおよび本学備え付けのノートPCを用意します。
- (3) インターネットへの接続はできません。

Ⅲ 学校推薦型選抜要項

1 募集人員および出願資格

区分	指定校	地域枠 (北海道・青森県)	全国枠
募集人員	10人	40人	10人
出願資格	本学が指定する北海道渡島・檜山管内の高等学校を令和3年3月卒業見込みの者で、以下の(1)～(3)のいずれにも該当する者	「北海道」または「青森県」内の高等学校もしくは中等教育学校等を令和3年3月卒業見込みの者で、以下の(1)～(3)のいずれにも該当する者	高等学校もしくは中等教育学校等を令和3年3月卒業見込みの者で、以下の(1)～(3)のいずれにも該当する者
	(1) 成績が優秀な者（調査書の数学，理科または全体の評定平均値のいずれかが3.5以上の者が望ましい。） (2) 本学で修学するための能力，適性について在学高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合には，必ず入学することを確約できる者		

※ 出願資格のうち，高等学校および中等教育学校以外の学校に在学し，学校教育法施行規則第150条の規定により，個別の入学資格審査により出願を希望する者は，事前に本学の出願資格の認定を受けることが必要です。なお，申請は，入学資格の認定を必要とする2か月前となります。（学校推薦型選抜の出願予定者は9月4日までに申請が必要です。）詳細については，教務課入試・学生募集担当（電話0138-34-6444）へお問い合わせください。

2 試験期日

出願期間 令和2年11月 4日（水）～令和2年11月13日（金）
試験期日 令和2年11月28日（土）・29日（日）
合格発表 令和2年12月 4日（金）

3 出願上の注意

- (1) 指定校，地域枠(北海道・青森県)，全国枠の各区分のうち1つしか選択できません。
- (2) 出願書類等に不備がある場合は受理できません。
- (3) 出願後は書類等の内容を変更できません。
- (4) 一度受付をした出願書類および納付された入学検定料は，理由のいかんを問わず返還しません。

- (5) 出願書類等に虚偽の記載をした場合、入学後であっても入学の許可を取り消します。
- (6) 身体等に障がいがある者のうち、受験上および修学上の配慮を必要とする場合は、出願の前に教務課入試・学生募集担当（電話 0138-34-6444）へ申し出てください。

4 併願上の注意

- (1) 本学の学校推薦型選抜に出願した場合は、他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願することはできません。
- (2) 本学の学校推薦型選抜に合格し、入学手続を完了した者は、本学の入学辞退の許可を受けた場合を除き、他の国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）が実施する一般選抜前期日程、中期日程および後期日程を受験しても合格者にはなりません。
 - ※ 独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）を確認してください。
- (3) 本学の学校推薦型選抜に合格しなかった者は、本学および他の国公立大学が実施する選抜入試に出願することができます。
 - この場合は、当該大学の学生募集要項により、あらためて出願してください。
- (4) 国公立大学の分離分割方式による合格決定業務を円滑に行うため、学校推薦型選抜の合格および入学手続に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センターおよび併願先の国公立大学に送達されます。

5 学校推薦型選抜の方法

大学入学共通テストを課さず、区分により以下のとおり選考します。

- 指定校
出願書類および面接により総合的に評価し選考します。
試験は、2日目に実施する「面接」のみとなります。
- 地域枠（北海道、青森県）・全国枠共通
出願書類、適性検査および面接により総合的に評価し選考します。
試験は、1日目が「適性検査」、2日目が「面接」となります。

期 日	試 験 内 容 等 (注1)		
11月28日(土)	適性検査	総合問題Ⅰ (150点) (注2)	理数系の基礎的な能力を評価するため、以下の出題を行います。 1. 基礎的な数学能力を問う問題(100点) 2. データに関する基礎的な問題(50点)
		総合問題Ⅱ (150点) (注3)	言語理解・言語表現の基礎的な能力を評価するため、以下の出題を行います。 1. 日本語能力を問う問題(50点) 2. 英語能力を問う問題(100点)(注4)
11月29日(日)	面接	対話面接 (200点) (注5)	思考力・判断力・表現力、主体性、および本学で学ぶうえでの適性などを検査します。対話面接では、志望理由書や調査書などの出願書類を活用します。

(注1) 総合問題Ⅰ・総合問題Ⅱについて、それぞれに設定する基準点を下回った場合は合格者とはなりません。

(注2) 総合問題Ⅰ出題ポリシー [20頁参照]

(注3) 総合問題Ⅱ出題ポリシー [22頁参照]

(注4) 英語辞書の持込み可

本学の考える辞書の活用意義とは、文章の要になるような単語・熟語の適切な意味や用例をその場で調べるといことです。そうした辞書の活用は、本学の英語教育（コミュニケーション）において実践的な英語力の一つと考えます。したがって、試験での辞書の持込みを認めます。

辞書の種類は、書籍型の英和、和英および英英とし、持込める冊数は各1冊です。電子辞書の使用は認めません。

付箋等はあらかじめおいてください。また、辞書の余白部分に文章や文例等の書込みを用意し解答に使用するなど、本学の考える辞書の活用意義から逸脱すると判断される行為は、不正行為とみなす場合があります。

(注5) 対話面接では、あらかじめ準備した内容を機械的に述べるのではなく、その場で示された問いについて、よく考え、わかりやすい言葉で表現してください。他者と理解し合おうとする態度や試みを重視します。

一般選抜（前期日程）試験 数学出題ポリシー

一般選抜（前期日程）試験における数学の出題では、入学後の初年度基礎数学科目を学ぶ上で困難が生じないレベルの基礎事項を習得できているか否かを問います。システム情報科学分野を学ぶにあたり必要となる「学力の3要素」のうち「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。正解に至るだけでなく、正解に至る論理的に正しい過程を適切に表現できるかといった表現力なども重要な要素となります。

数学の問題は、「必須問題」と「選択問題」から構成されています。「必須問題」の出題範囲は、「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B」です。「選択問題」の出題範囲は、「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B」または「数学Ⅲ」のいずれかの選択とします。

1. 必須問題（「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B」）

主として基礎事項に関する学力を確認するための問題を2問程度出題します。

2. 選択問題（「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B」）

数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学Bの範囲から、複数の事項を活用した多面的・総合的な学力を問う問題を2問程度出題します。

3. 選択問題（「数学Ⅲ」）

必須問題と同様、主として基礎事項に関する学力を確認するための基本的な問題を2問程度出題します。

総合型選抜試験 総合問題A出題ポリシー

総合型選抜試験における総合問題Aでは、システム情報科学分野を学ぶにあたり必要となる「学力の3要素」のうち「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。数学または情報科学に現れる様々な事項を理解して論理的に考察したり処理したりすること、さらには身近な事象の理解を深めたり問題解決といった「数学的活動」に関する基礎的な知識の理解と活用力を問います。

総合問題Aは、3つの異なる出題範囲の問題から構成されています。

1. 基礎的な数学能力を問う問題

主として「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B」の範囲から基礎的な知識の理解を問います。出題形式は、基本的な小問を5問程度出題します。

2. データに関する基礎的な問題

図や表などを元にした設問により、読解，説明，推論する力などを問います。

3. 情報に関する基礎的な問題

情報科学の基礎（二進数の計算など）の理解，問題を解くための方法や手順を考える力，情報メディアの性質を理解し適切な表現について考える力，といった情報分野を学ぶにあたり必要となる基礎的な力などを問います。

学校推薦型選抜試験 総合問題Ⅰ 出題ポリシー

学校推薦型選抜試験における総合問題Ⅰでは、入学後にカリキュラムに沿って学んでいく上で知っているべき基礎事項を習得できているか否かを問います。また、数学に現れる様々な事項を理解して論理的に考察したり処理したりすること、さらには身近な事象の理解を深めたり問題解決といった「数学的活動」に関する基礎的な知識の理解と活用力を問います。システム情報科学分野を学ぶにあたり必要となる「学力の3要素」のうち「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。

総合問題Ⅰは、2つの異なる出題範囲の問題から構成されています。

1. 基礎的な数学能力を問う問題

主として「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B」の範囲から基礎的な知識の理解を問います。出題形式は、いくつかの小問で構成された問題を2問程度出題します。

2. データに関する基礎的な問題

図や表などを元にした設問により、読解，説明，推論する力などを問います。

一般選抜（前期日程）試験 英語出題ポリシー

英語能力を問う問題は、高等学校学習指導要領等を踏まえながら、出題する文章と問題に独自の焦点を持たせています。おもに、科学およびデザイン、技術に関する場面において、情報や考えを理解したり伝えたりする能力を以下のとおり評価します。

また、試験において、辞書の使用を認めています。文章の要になるような単語の意味がわからないときに、単語の適切な意味をその場で見出すという辞書の活用は、本学の英語教育において実践的な英語力の一つと考えるためです。

1) 読解力

- 文章の要点や概要を理解する。
- 質問の要点を明確にし、与えられた文章の文脈と照らし合わせて適切な答えを選ぶ。
- 文章の中から特定の情報を見つける。
- 論点を明確にする中で、その論点と文章の構成や図表などの関係に着目する。

2) 構成力・表現力

- 自分が聞いたり、読んだり、学んだり、経験したりしたことに基づいた情報や考え方について、一貫したまとまりのある文章を書き伝える。
- 与えられた文章に示された情報に基づき、論理的で明確な文章を書く。
- 論点を明確にする中で、その論点と文章の構成や図表などの関係に着目する。

大学では、教員の講義を聞いたり、日本語あるいは英語で書かれている書籍や論文を読んだりすることにより、さまざまな知識を得ていきます。また、与えられた課題の意図を正確に把握してレポートなどを作成したり、簡潔な試験答案を書いたりすることが求められます。総合型選抜試験における総合問題B、学校推薦型選抜試験における総合問題Ⅱでは、このような学習を自律的に進めていくために必要となる、言語理解・言語表現の基礎的な能力について日本語および英語の両面から問います。

1. 日本語能力を問う問題

日本語能力を問う問題では、以下の2点を評価します。これらの能力は、文系・理系にかかわらず、小学校から中学校、高等学校へと進む中で徐々に養われていくものと考えられます。

1) 論理的な思考力・理解力

- ・ 因果（原因と帰結）、相関、比較、並列、階層構造など、情報間の関係がわかる。
- ・ 情報を適切に分類できる。
- ・ 情報の抽象度の違いがわかる。
- ・ 情報の重複、話題の不整合、論理の飛躍などの文章上の問題点を発見できる。

2) 適切に説明する能力

- ・ 言葉の意味を理解し、日本語として適切な言葉・文法を用いて説明できる（語彙力）。
- ・ 文章の読み手に合わせて説明の仕方を工夫できる。
- ・ 主張・理由づけ・証拠による、説得力のある説明ができる。

2. 英語能力を問う問題

英語能力を問う問題は、高等学校学習指導要領等を踏まえながら、出題する文章と問題に独自の焦点を持たせています。おもに、科学およびデザイン、技術に関する場面において、情報や考えを理解したり伝えたりする能力を以下のとおり評価します。

また、試験において、辞書の使用を認めています。文章の要になるような単語の意味がわからないときに、単語の適切な意味をその場で見出すという辞書の活用は、本学の英語教育において実践的な英語力の一つと考えるためです。

1) 読解力

- ・ 文章の要点や概要を理解する。
- ・ 質問の要点を明確にし、与えられた文章の文脈と照らし合わせて適切な答えを選ぶ。
- ・ 文章の中から特定の情報を見つける。
- ・ 論点を明確にする中で、その論点と文章の構成や図表などの関係に着目する。

2) 構成力・表現力

- ・ 自分が聞いたり、読んだり、学んだり、経験したりしたことに基づいた情報や考え方について、一貫したまとまりのある文章を書き伝える。
- ・ 与えられた文章に示された情報に基づき、論理的で明確な文章を書く。
- ・ 論点を明確にする中で、その論点と文章の構成や図表などの関係に着目する。

令和2年度入学者選抜試験結果

		A O 定員 20 人	特別選抜(推薦)			一般選抜		計 定員 240 人
			指定校 定員 10 人	地域枠 定員 40 人	全国枠 定員 10 人	前期日程 定員 135 人	後期日程 定員 25 人	
志願者数	男	45	6	81	16	439	48	635
	女	15	3	14	7	75	14	128
	計	60	9	95	23	514	62	763
受験者数	男	45	6	81	16	419	28	595
	女	15	3	14	7	70	8	117
	計	60	9	95	23	489	36	712
合格者数	男	23	6	34	7	134	13	217
	女	9	3	6	4	31	5	58
	計	32	9	40	11	165	18	275
入学者数	男	23	6	34	7	122	9	201
	女	9	3	6	4	26	3	51
	計	32	9	40	11	148	12	252

令和2年度一般選抜入試合格者得点統計値

前期日程

区 分	大学入試センター試験						個別学力検査 (500)	総合点 (800)
	国語 (60)	数学① (60)	数学② (60)	理科 (60)	英語 (60)	計 (300)		
最高点	58.20	54.00	51.00	55.20	55.92	238.08	406.00	644.08
最低点	19.20	19.80	15.60	19.80	18.96	134.76	230.00	423.08
平均点	44.10	34.12	32.49	37.04	35.59	183.35	307.16	490.52

後期日程

区 分	大学入試センター試験						個別学力検査 (-)	総合点 (500)
	国語 (100)	数学① (100)	数学② (100)	理科 (100)	英語 (100)	計 (500)		
最高点	94.00	90.00	85.00	93.00	94.00	407.00	—	407.00
最低点	56.00	37.00	43.00	36.00	40.00	261.40	—	261.40
平均点	77.56	69.11	65.72	70.00	70.16	352.54	—	352.54

注) 上記表の「計」および「総合点」は各科目の合計点ではありません。



〒041-8655

函館市亀田中野町116番地2

公立はこだて未来大学事務局

教務課 入試・学生募集担当

電話 0138-34-6444

FAX 0138-34-6383

E-mail exam@fun.ac.jp

URL <https://www.fun.ac.jp/>